

妻ヶ丘中学校だより

令和4年12月23日 校長 深江 祐史

第二学期が終了しました

本当にいつまで続くのか、再び新型コロナウイルス感染症が拡大を見せる中、令和4年度の第二学期が終了しました。先週は、2クラスが学級閉鎖になるなど大変な週でしたが、今週は何とか乗り切ることができました。これは、生徒の皆さんが寒い中にも関わらず、こまめに手を洗ったり、しっかり教室の換気に気を付けて取り組んでくれたおかげだと思っています。特に保体委員の皆さん、業間のたびに窓の開け閉め、呼びかけ等ありがとうございました。

それでも残念ながら、終業の日を欠席せざるを得なかった人たちもいます。まだまだコロナの影響は続きそうですが、冬休み中も自分でできる対策はしっかり行って過ごしてほしいです。

1 終業式が行われました。

本日(23日)の終業式では、4名の生徒に「二学期の反省と今後の抱負」を述べてもらいました。

1年代表の 前田 兼宗 さんは、今学期①あいさつ②部活③ボランティアを努力したこと。中でも部活動で「努力は裏切らない」との言葉を実感したこと。また三学期は学年全体で「相手を想う心」を大切にできるようにしたいと抱負を述べました。

2年代表の 中村 樹璃 さんは、これまでの自分の殻を破って新しい自分になろうと挑戦したこと。そして、それができたのは、困ったときに助けてくれる友達や先生方がいたこと。さらに修学旅行は失敗も含めて3日間楽しめたことを挙げました。

3年代表の 山下 大翔 さんは、最後の合唱コンクールを精一杯頑張れたことを挙げました。また反省として家庭学習への取組が不十分だったこと、そして今後に向けては、受験は団体戦なので、全員合格できるよう学年・学級全体の雰囲気作りに努めたいと決意を述べてくれました。

生徒会代表の 南 太豎 さんは、文化祭が成功したこと、選挙で新生徒会に選ばれたこと。そして何より3年生が作り上げた旧生徒会の地域との繋がりを更に進めたいと力強い言葉がありました。

今回も4人の発表は、感染拡大防止のため、リモートとなりましたが、4名は、緊張しながらもカメラの前で、しっかり自分の言葉で述べていました。4名とも素晴らしかったと思います。

その後、私からは、全校生徒に対して以下の話をさせていただきました。

こちらを見てください。このサッカー選手の名前を知っていますか？

リオネル・メッシ選手です。今回のワールドカップはアルゼンチンの優勝で幕を閉じました。優勝した20日は、アルゼンチンは国民の祝日になるそうです。すごいですね。前回アルゼンチンが優勝したのは、今から36年前、マラドーナ選手を擁したメキシコ大会、テレビでマラドーナの5人抜きを見たのを思い出します…古い話で申し訳ありません。

さて、次にこれですが、あまりにも有名な写真ですね。もはやワールドカップが開かれるごとに、日本代表の試合後のロッカールームの美しさは話題になっています。

併せて、日本サポーターの試合後のごみ拾い、これも有名ですね。

これについては、先日、朝日新聞に興味深い記事がありましたので紹介します。

「なぜ、日本のサポーターは、きれい好きなのか？」英BBCの取材に対して、外国人で日本在住の社会学者であるノース・スコットさんは、「学校で教わった基本態度の延長」「日本の学校では子供のころから掃除をしている」と述べています。もちろん、理由はそれだけではありませんが、外国の学校にはあまりそういう習慣はないようですね、面白いですね。

さて、そして今大会では、さらに、こういうことが話題になりました。

こちらは、セネガルのサポーター、そして、こちらは韓国、そしてブラジルでしょうか。他国のサポーターが日本のサポーターのまねをして、よいことだとしてゴミ拾いを始めたというニュースでした。

このニュースを聞いて、私はある言葉を思い出しました。

「徳は孤ならず、必ず隣あり」(とくはこならず、かならずとなりあり)

徳のある行為(人)には、必ず理解者や協力者が現れるという意味です。

さて、みなさんの中には、今学期、ボランティアなど、善い行いをした人がたくさんいたと思います。いつも言っていますが、「自立」「感謝」「貢献」ですので、学校や社会への貢献はとても素晴らしいことだと思います。

でも、ボランティア活動ではないけれど、皆さんの中には、例えば、少し落ち込んでいる友達にやさしく声をかけてあげたり、悩んでいる友達の相談に乗ってあげたり、みんなが誰かの悪口を言っているときに「それ、やめたら・・・」と言ってあげたり・・・あまり目立つことではないけれど、そういう「誰かの気持ちに寄り添って、誰かのために心を飛ばした」人もいると思います。

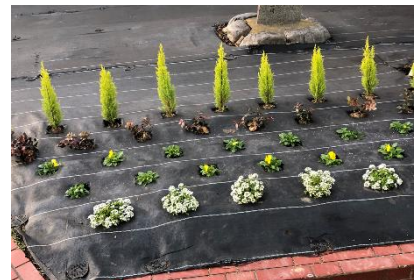
「徳は孤ならず、必ず隣あり」です。そういう優しさは、徳は孤立することはありません。今は気づかれなくても、いずれ、必ず、誰かが、その優しさに気がついて、あなたの周りに自然に、そして静かに集まってくることと思います。ですので、どうぞ、今のまま、誰に対しても、そういう気持ちで接してほしいと思います。

最後です。正門前の今の風景です。花壇はこんな状況です。中庭には、あえて日陰にプランターが置いてあります。中はこんな状況です。

これは、本校の技術員である榎田 さんが、育ててくれています。先日「校長先生、3月の卒業式にはこんな色の花が、玄関や式場の壇上を飾りますよ」ととてもうれしそうに一つ一つの花について説明してくれました。

3年生の皆さん、今回は大変な冬休みになると思いますが、いろいろな人が皆さんを応援しています。自分の夢の実現に向けて精一杯頑張ってください。

それでは、全校生徒の皆さん、長い二学期、お疲れさまでした。これから17日間の冬休みに入ります。次に皆さんに会うのは1月10日です。元気な皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。



保護者そして地域のみなさま、今年は大変お世話になりました。来年も妻ヶ丘中学校の子供たちをどうぞよろしく願いいたします。